

海外での委託加工

- 「日本での原材料調達が困難・高コストである」、「働き手不足によって国内生産体制を維持できない」、「今後の販売市場が海外にシフトしていく」等を理由として、海外での委託加工取引を検討する場合には、主に次のポイントを押さえる必要があります。

委託加工先の選定・交渉

- ✓ 相手先企業は、適切な製造・貿易等ライセンスを有しているか
- ✓ 信用調査や過去の取引・支払実績等において、深刻な問題がないか

追加的コスト・人材確保の準備

- ✓ 人件費の安い国の企業を選定したとしても、コスト減につながるとは限らない
 - … 原材料または製品の運搬等にかかる時間・費用が追加的に発生
- ✓ 品質の向上・安定化のため、日本からの技術者派遣が必要なケースあり
 - … 継続的に海外派遣人材を確保できるか

海外企業との取引にかかる各種リスク

- ✓ 品質、納期の変動リスク(初回取引が成功したとしても安心できない)
- ✓ 知的財産権への侵害、技術流出のリスク
- ✓ 製造物責任の発生可能性の確認 ※海外での販売展開を想定する場合